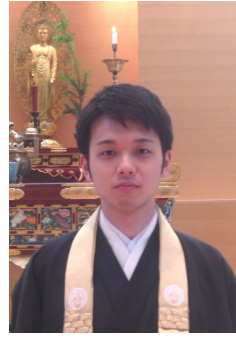


# 佛心

二〇一五年  
七月・八月合併号  
浄土真宗 本願寺派  
トロント本願寺



「この世のすべてのものは、  
みな縁によって現れていたものであるか  
ら、もともと違いはない。」

この度、四月よりトロント本願寺に赴任  
させて頂きました大内祐真です。出身は九  
州の大分県ですが、高校卒業後は関西で五年間、アメリカで一年  
間ほど過ごさせて頂いていただきました。その六年の間に二年ほど大阪  
のお寺でお世話になっていただきました。本日は、その大阪  
での経験を通しての法話をさせていただきます。

私が勤めていた寺院は大阪市内にあるとはいえ、周りには畑  
や田んぼといった風景が残る下町でした。月命日で御門徒さん宅  
に向かい勤めとお話をさせてもらおう。そのような日々の中、農業  
を営んでおる御門徒さんとの会話で「今日は雨で嫌な日です  
ね。。」と私が言うと、その方は「いや、今日は稲がよく育つ良  
い日だ。」とおっしゃるのです。確かにその通りですね。田んぼ  
や畑を持つ人にとっての雨は貴重なものであります。

何ヶ月か経ちまして同じ御門徒さん宅に向かったとき、以前と  
同じように雨が降り始めました。私は以前の経験から「今日は稲  
が育つ良い日ですね。」と言いました。しかし、御門徒さんから  
は、「いや、今日は稲刈りの日だったのに、この雨で駄目になっ  
た。今日の雨は嫌なものだ。」とおっしゃったのです。

同じ雨でもその時の状況や環境によって善し悪しがつけられて  
しまう。しかしそれは、雨や晴天といった天気に限ったことで  
しょうか。例えば、ある老人が「今の若い者は駄目だ！もっと勉  
強するべきだ！」と言ったと思ったら、次の日には「年をとった

ら駄目だ。若い頃に戻りたい。」と口に出す。または、ある若者  
が「生きるって素晴らしい！」と言ったと思ったら次の日には「生  
きるのが辛い、嫌だ。」と嘆く。

ときに私たちは、変えられない歳やいのちに対しても善悪を簡単  
に判断してしまふ。それは私たちが常に自分たちの都合に囚われて  
いるからです。一言で表せば「執着」とも「偏見」とも「自己中  
心」とも表せるでしょう。

經典には以下のような言葉があります。『この世のすべてのもの  
は、みな縁によって現れていたものであるから、もともと違いはな  
い。違いを見るのは、人々の偏見である。例えば、大空に東西の区  
別はないのに、人々は東西の区別をつけ、東だ西だと執着する。ま  
た、人間の行為それ自体には善いも悪いもないのに善悪の対立を見  
る。それが人々の偏見である。』

このように人間は生きている限り他人に対しても善悪をつけてし  
まう生き物であります。しかし忘れてはならないのは、全て自身の  
都合で判断してしまっていることです。つまり、あなたの思う良い  
人も悪い人も「あなたにとって都合の良い人、悪い人」ということ  
です。

では阿弥陀仏はどうでしょうか。阿弥陀仏は長き間ご修行をなさ  
れ、どんな者でも隔てなく浄土へ迎え入れると誓願を建立し成就さ  
れました。そこには私たちの考える善し悪しの物差しはないので  
す。阿弥陀仏の願いが私たちに届くとき、それはどんな都合にも干  
渉されることなく念仏として現れます。

そのお念仏は、私たちの「阿弥陀様におまかせします」の想いと  
同時に、阿弥陀仏からの「必ずや、そのままのあなたを浄土へ向か  
い入れるぞ」との呼び声でもあったのです。

“この世のすべてのものは、みな縁によって現れていたものであ  
るから、もともと違いはない。”

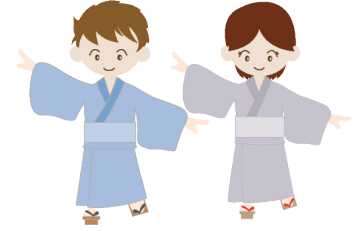
違いを生み出しているのは私たち自身であります。それを超え  
た仏様からの呼び声を大切に想うとき、自然と口からお念仏がこぼ  
れてきます。

合掌 南無阿弥陀仏 大内祐真

そっとつながる ホッがったわる ~ 結ぶ絆から、広がるご



# お盆のご案内



お盆とは先にお浄土へと還って往かれた方々を偲び

そのお導きによって私が今、お念仏する身へと

お育ていただいた事に感謝する大切なご縁です

ぜひともご家族おそろいでお参りになって下さい

## 7月9日(土) お墓参り

Glen Oaks	9:00 AM	Necropolis	8:30 AM
Highland	9:30 AM	Riverside	9:30 AM
Spring Creek	9:30 AM	Sanctuary North End	9:00 AM
<u>セントラルサービス</u>		Sanctuary South End	9:00 AM
Pine Hills	9:30 AM	St. Philips	9:30 AM
Resthaven	11:00 AM	York	9:30 AM
St. James	9:30 AM	Glendale	9:30 AM
Mount Pleasant	10:30 AM	Elgin Mills	11:00 AM
Prospect	9:30 AM	Meadowvale	1:00PM (予定)
Parklawn	11:00 AM	Salem	調整中

7月9日 (土) 午後7時 盆踊り・夏祭り 場所 日系文化会館

7月10日 (日) 午前9時 初盆会 (日英合同)

午前11時 英語盂蘭盆会

午後2時 日本語盂蘭盆会

昨年から日本語盂蘭盆会は午後1時から午後2時に変わりました。

ご講師：生田グラント先生 (スティーブストン仏教会開教使)





☆ デイキャンプ@ルンビーニコテージ ☆

7月24日（日）～30日（土）

ワサガビーチにありますルンビーニコテージ  
で

デイキャンプを行ないます！！

キンダーガートン・小学生のお子さんは  
ぜひともお気軽にご参加下さい。

サンドキャッスル、ビーチタイムなど

楽しいアクティビティが一杯です！！

夏休みの間キッズサンガはお休みですが、

9月11日（日）から

新しいシーズンが始まります。



©HONGWANJI SYOUNEN RENMEI

## 敬 弔

次の方が御往生されました。

生前のおもかげを偲び、謹んで敬弔の意を表します。

北村 しまえ イニス様  
九十四歳 五月三十一日往生

藤本 かずよ ケイ様  
八十一歳 五月三十一日往生

村 あきお様  
五十二歳 六月九日往生



「ありのまま来なさい」

清水ロン氏へのインタビュー

お寺に来るようになった切っ掛けは？

簡単に言うと妻と子供たちの影響です。

詳しくお聞かせください。

妻のエディと出会ったのは1977年の日系カナダ人100周年記念の場でした。日系コミュニティーと先代の方々が残してくださった「遺産」に興味があったのだと思います。二人の子供の親としての自覚が出てきた1980年代には、子供たちに親戚以外の日系カナダ人の方々のことを知って欲しいと思いましたし、それに伴うコミュニティーの一員になる感覚を身に着けて欲しいとも思いました。前のトロント本願寺は私たちの家から近かったこともあり、妻は二人の子供（アジャとトモ）を連れて行くことにしました。しかし、行ってみて分かったのですが、当時は子供がほんの数人しか来ていなかったのです。幸運なことに、毎週子供たちを連れてくることを条件に、スヤマ・クニオ氏が幼稚園の再開を提案してくださいました。そこから子供たちはきちんと毎週お寺に行くことになり、アラーナとウィアット・ブレンデンその後も次第に子供たちが集まるようになりました。ここで一つお断りしないといけません、その当時私はあまりお寺に足を運んではいませんでした。日曜日は寝ているか古い家の修繕に追われるかしていました。子供たちがダルマ・スクールに通い続け妻も他の保護者同様ボランティアに参加していくうちに、私も自然と参加していくようになりました。

そこからお寺に関わり続けるようになった理由はなにかあったのでしょうか？

お寺に来られる方々の影響です。子供たちの遠足、ルンビニキャンプ、報恩講、家族向けの晩餐会、バザーに餅つき。色々な行事がありましたが、それらを通してお寺の方々と仲良くなり連帯感が強くなっていきました。歴代の僧侶の先生方（藤川先生、グラント先生、ドリーン先生、マサ先生、菊池先生、トモ先生、牧野先生、そしてヤンコ先生）をはじめとしてお寺で私が出会った方々が皆親切で温かく私を迎え入れてくれました。トロント本願寺のサンガで自分の居場所を見つけるのに時間はかかりませんでした。これがお寺にしっかりと関わるようになった経緯です。そこでは1950年代からお寺に通ってこられた先輩からお寺の歴史を学びました。彼らのお寺、僧侶の方々と会衆に対する献身性に感化されました。そしてお寺が移転すると益々お寺に関わるようになっていきました。

仏教は清水さんの人生の中でどのような役割を果たしていますか？また、お寺との関わりの中ではどのように影響していますか？

私はかれこれ35年以上も環境保全の分野で働いてきました。その中で仏教の基本的な教義の中



には現代の環境保護の考えの根っこに通じるものがあることに気が付きました。それらの価値観とは

ありのままを見ること

自己中心的な人生観と生き方の限界を認識すること

森羅万象の因果を認識すること（全てのものは関係し合っている）

何一つとして同じものはないことを認識すること

生きとし生ける全てのものを慈しみ、命に感謝すること

これらの価値観を個人や社会の意思決定と行動に反映させることで、良い人間関係を保ちこの地球をより良い場所にしていくことが出来ると信じています。お寺とは、私の眼には、そのような価値観を貯蔵する施設として機能しているように映ります。お寺でTisarana（三宝）を唄っている間、私はそれらの価値観を思い返し、改めてそれらの考えに信仰心を補充することが出来るのです。

\*Taitetsu Unno氏の著書「*Bits of Rubble Turn To Gold*（塵も積もれば金になる）」で出てくる詩から一部引用しています。

### -東方仏教連盟会議につきまして-

この度、ニュージャージー州のシーブロック寺院にて浄土真宗連盟会議が2016年7月2日から4日まで開催されます。

今会議のテーマは“Come As You Are（ありのまま）”であり、基調演説をするのは田中ケネス先生です。

出席参加される方はお一人150USドルの支払いを7月31日までにお済ませください。なおホテルの御予約はFairfield InnもしくはSuites Milville Vinelandが一晩102.30USドルでご利用いただけます。

詳しくは当ウェブサイトをご覧ください。

<http://ebl2016.weebly.com>

尚、コンピューターをお持ちでない方は、トロント本願寺のロビーにて情報紙を用意させていただきます。どうぞご自由にお取り下さい。

大変恐れ入りますが、今会議につきましてトロント本願寺は移動費や宿泊費等の財政的援助および負担は行っておりません。移動費や宿泊費等は自己負担でよろしくお願い致します。

ダーナ ニュース : Mark Your Calendar -

この度、ダーナグループ（婦人会）では、8月13日の午前10時よりトロント本願寺におきまして「お漬物講習会」を基金募集として活動させていただきます。

参加費はお一人様10ドルとなっております。

自分の手でお漬物をどのようにして作るか知りたい方、興味のある方はどなたでも御参加いただけます。作ったお漬物で一緒にお昼ご飯を食べませんか。

-野外法要について-

今年の9月18日（日曜日）にトロント本願寺裏の公園“Banting Park”にてご近所さんを招いての野外法要を執行させていただきます。

お寺や仏教に興味・関心のある方は是非とも足を運んで下さい。

尚、参加される方には、持ち運び可能な椅子（アウトドア用）の持参をお勧め致します。

-トロント本願寺バザー（ラッフルチケット）-

皆様へ、

立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いておりますが、朝の空気に爽秋の気配が感じられる頃となりました。皆様には、ますますのお念仏ご相続のことお慶び申し上げます。また、毎年仏教会の資金集めの為にご協力いただいたこと、心より感謝致しております。

今年もいよいよ毎年恒例「秋のバザー」が近づいて参りました。そして、永きに渡りバザーの目玉として大人気の“ラッフル宝くじ”を販売させていただきます。この度のくじ引きイベントの商品に関しましては現金とさせていただきます。前年度以上の寄付のためにも皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

就きまして同封されておりますチケットですが、1枚5ドル、3枚10ドル、一冊30ドルとさせていただきます。販売していただいたチケットは、表紙・半券・代金をトロント仏教会までお返信下さい。さらにチケットをお買い求めいただける方は、トロント本願寺の事務所(416)-534-4302までお知らせ下さい。なお、抽選会は11月12日（土曜日）午後3時半より行われます。\*この宝くじのチケットは、オンタリオ州に在住の方しかお買い求めいただけませんのでご注意ください。